

『変わる世界とわたしの日常について』

第二話 「体調が悪いときって、なぜか心細くなる説」

〈登場人物表〉

ほのか（20） 大学生。ファミレスでバイトしている。

みちる（20） ほのかの大学の友人。バイト先も一緒。

さき（14） ほのかの妹。中学生。

〈あらすじ〉

大学生のほのか（20）は友人のみちる（20）の勧めもあり、ワクチン接種を決意する。副反応に驚いたりもしたが、概ね健康状態は良好でバイト先にも出勤していた。しかし同僚の鈴木（20）が新型コロナウイルスに感染し、店が休業となる。そのことでコロナを身近に感じたほのかは、離れて暮らす祖母・とみこ（76）に電話をかける事に。

後日、ワクチンを接種したほのか。

副反応が出て実家の自室でぼんやりしている。

ほのかはみちるにひたらすらスタンプを送る。

少ししてみちるの方からビデオ通話が来て

※みちるはスマホ画面での登場

みちる 「ねえ！スタンプ送ってきすぎ(笑)」

ほのか 「みっちゃん〜ん」

みちる 「キモっ！何、どうしたの？」

ほのか 「めっっちゃ熱出てるんだけど。39度！あと腕痛いし、何か体だるいし。動けないせいでひたすら寝てる、っら…」

みちる 「マジか！私全然平気だったけど。あれだね、副反応」

ほのか 「普通にムリ。てか副反応の副って何やねん。副リーダー

みちる か？土方歳三かよっ」

ほのか 「出た、新撰組鬼の副長(笑) まあワクチン打ったら重症

化しづらいらしいし。頑張れ(笑)」

ほのか、熱のせいか謎のテンションになる。

ほのか 「……てかさ、」

みちる 「何？」

ほのか 「……めっっちゃ寂しいんだが！」

みちる 「は？(笑)」

ほのか 「孤独死怖い、まじムリ」

みちる 「いやいやいや、あんた実家じゃん(笑)」

ほのか 「何か熱のせいでやたら心細いっていうか、メンタルぼつ

こぼこなんだけどもっ！もう無限にかまって欲しいテン

ションンン！！！！」

みちる 「大丈夫、2〜3日で治るらしいから(笑)」

ほのか 「冷たっ！他人事すぎない！？」

と、そこに妹がいきなりドアを開けてやって来て

さき

「ちょっとお姉！うるさいっ！！」

すぐに勢いよくドアを閉め去っていく妹。

みちる

「…え、いまの妹？」

ほのか

「うん」

みちる

「めっっちゃ舐められてんじゃん(笑)」

ほのか

「ね。私かわいそう(笑)」

みちる

「思った(笑)」

END